

まだまだ開発途中の段階なので、未完の部分も多いが、この版を試すだけでも、今後のインターネットがどのような方向に進化していくか、十分理解してもらえはすだ。

X2Webはいったいどのようなサイトで活躍するのか

X2Webを導入したWebサイトで最大の恩恵を受けるのは、いったいどこだろう？

まず、すでに実績が報告されているのは、企業がイメージ向上を目的に運営しているサイトである。X2Webを使えば、単にWebページの中身ばかりでなく、“外側”まで効果的なデザインを施すことができるため、訪問者たちに対してより効果的に企業イメージをPRすることが可能になるのだ。

世界中では、すでに試験的にX2Webを導入した大企業のWebサイトはいくつが存在しており、国内でも日本マクドナルドなど、ブランドイメージを大切にしている企業がすでに導入を行なっている。

また、PR・広告・エンターテインメントの世界ばかりでなく、企業内のイントラネット用途でこのX2Webを採用する企業も出てきた。なぜなら、X2Webでは単にブラウザのルックスを変えるばかりでなく、ボタンを追加したりURL入力フィールドを排除することなどが可能なので、社内専用の事務システムなどにも最適なのだ。

また、日本でのパッケージ販売はスタートしたばかりだが、最近では教育機関や病院などからの問い合わせも増えていることから、今後はこのようなイントラネット用途でのX2Web導入事例も急増するかもしれない。

ルックスを変えることは、ブラウザから解放されるということ

いずれにせよ、このX2Webの登場は、多くのWebデザイナー・サーバー管理者にとっては衝撃的な出来事である。

すでに数年前から多くの人々が「ブラウザから解放されたインターネット」を夢見てきた。しかし、それを実現する技術はまだ1つも登場していない。そういう意味では、このX2Webのように、ブラウザのルックスそのものを変更するというアプローチは、1つの解決策として考えていこう。なぜなら、ブラウザのルックスがサイトに応じて変化していくということは、すなわちブラウザソフトの存在そのものを透明化することも意味するからだ。

もしかしてこのX2Webは、インターネットをブラウザソフトの呪縛から解放する、画期的な存在となるかもしれない。そういう意味では、できるだけ多くのMacユーザーにこのX2Webプラグインを試してもらい、今後のインターネットの可能性を模索してもらいたい。

自分のMacでX2Webの世界を体験してみよう!

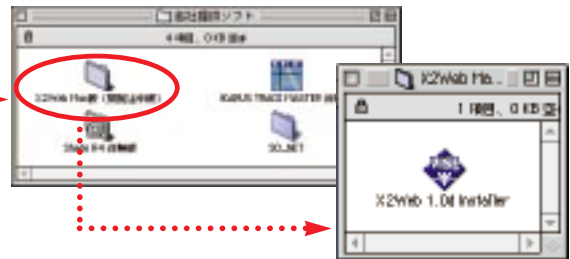


本誌の付録であるCD-ROM MACLIFEを自分のMacのCD-ROMドライブに挿入する。すると、上記のようなCD-ROMアイコンがデスクトップに現れるはずだ



CD-ROMアイコンをダブルクリックすると、このようなCD-ROM MACLIFEの中身が見えるウィンドウが開く。数あるフォルダーの中で、右手中央にある「各社提供ソフト」をダブルクリックしよう

.....すると、このように各社別のフォルダーが4つ見える。この中で「X2Web Mac版(開発途中版)」を見つけ、それを再びダブルクリックしよう



するとX2Webプラグインをインストールするための「X2Web 1.0d Installer」プログラムを見つけることができる。あとはこのアイコンをダブルクリックしてインストールするだけだ



インストーラー画面では、このようにどのブラウザソフトにX2Webプラグインをインストールするか選択することになる。ここで該当するブラウザソフトにインストールするわけだが、もし複数のブラウザソフトを使い分けているのであれば、一度インストールした後に再び「X2Web 1.0d Installer」を起動し、繰り返し別のブラウザにインストールすればよい



X2Webプラグインをインストール後、インターネットに接続してからいつものブラウザソフトを起動してみよう(画面はMicrosoft Internet Explorer 5.0の例)。ここで、実験のためX2Webを採用しているサイトを訪れてみよう。X2Web Mac版のデモサイトである「http://www.x2web.ne.jp/mac/beta/」をURL入力して移動すると.....



なんと、自分のブラウザソフトの外見が、夜のマンハッタンをイメージした独自のものに変更されてしまった！これこそ、X2Webが提案する新しいインターネットの姿である。この新しいWebブラウザで実際にURL入力したり別のサイトを訪問するなど遊んでみよう